

記者発表（資料配付）			
月／日 （曜日）	所属名 （担当部課名）	電話	発表者名 （担当者名）
11／27 （金）	兵庫県鳥インフルエンザ 対策本部事務局 対策班	078-362-9220 （内線 4081）	対策班長 加登 岳史 （副班長 廣田 清和）

淡路市における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の遺伝子解析の結果について

淡路市で確認された高病原性鳥インフルエンザの「疑似患畜」について、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの「患畜」であることが確認されましたので、お知らせします。

記

1 農場の概要

所在地：淡路市

飼養状況：採卵鶏農場（飼養羽数：146,000羽）

2 遺伝子解析の結果

- （1）高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜について、遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。
- （2）農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを患畜と判定しました。
- （3）また、NA亜型が判明し、H5N8亜型であることが確認されました。

3 その他

- （1）我が国の現状において、家きんの肉や卵を食べることにより、ヒトが鳥インフルエンザウイルスに感染する可能性はないと考えられます。
- （2）現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあること、農家の方のプライバシーを侵害しかねないことから、厳に慎むよう御協力をお願いいたします。特に、ヘリコプターやドローンを使用する際の取材は防疫作業の妨げとなるため、厳に慎むようお願いいたします。
- （3）今後とも、迅速で正確な情報提供に努めますので、生産者等の関係者や消費者は根拠のない噂などにより混乱することがないように、御協力をお願いいたします。